

定期報告制度のご案内 - 維持管理のすすめ -

万が一に備えての義務です！

皆様がご利用になられている建物の定期点検はお済でしょうか。思わぬ事故を未然に防ぎ、いつ起こるか分からない災害時に必要な設備等がしっかりと機能するように維持管理をすることは、建物所有者、管理者の義務となっております。

もし、定期報告をおこなっていない建物がございましたら、どうぞお気軽にご相談ください！

定期報告制度が改正されました！

近年、定期報告が適切に行われていなかったことが一因とみられる建物やエレベーターの事故が多発しているため、見直され、平成20年より改正されました。建物の中でも特殊建築物と呼ばれる、学校、病院、大規模商業施設、オフィスビルなど、不特定多数人が利用するものは、安全性を確保するために、専門技術を有する資格者が調査、検査をし、特定行政庁に報告しなければなりません。

定期報告が必要な建物

- 劇場・映画館又は演芸場 地階又は3階以上の階で500平方メートル以上のもの又は主階が1階でない建物
- 観覧場(屋外観覧場は除く)公会堂又は集会場 地階又は3階以上の階で1000平方メートル以上の建物
- 病院又は診療所(患者の収容施設があるものに限る) 地階又は3階以上の階で1000平方メートル以上の建物
- 旅館又はホテル 地階又は3階以上の階で1000平方メートル以上の建物
- 学校 地階又は3階以上の階で2000平方メートル以上の建物
- 百貨店・マーケット・展示場・キャバレー・カเฟー・ナイトクラブ・ダンスホール・遊技場・
公衆浴場・料理店・飲食店又は物品販売業を営む店舗 地階又は3階以上の階又は1000平方メートル以上の建物
- 事務所その他これに類するもの (地階を含む階数が5階以上で1000平方メートルを超えるものに限る)

セミナー報告

6月6日(日)
『本当に』
ひとに優しい
街づくり+
車椅子体験会



このセミナーには水戸の車椅子バスケットチーム「スピニング・フープ・レボリューション(SHレボ)」代表の斎藤信之氏を講師にお招きし、県内の建築士16名が受講しました。

建築トラブル相談センター

建築家による
建築トラブル無料相談実施中!!

建物のお悩みをお持ちの方はお気軽にご相談下さい!!
<FAX>029(233)2706
<URL><http://www.kenchiku-trouble.com/>
<郵送>(宛先)〒310-0062 茨城県水戸市大町3-4-36 大町ビル1F
一般社団法人 建築トラブル相談センター 宛
<相談予約受付専用ダイヤル>
TEL.029(233)2703(受付時間/月~金 9:00~17:00)

新人紹介 遠西 雄大 (とおにし かつひろ)

今年の4月からエイプラス・デザインで働かせていただいております、遠西雄大と申します。水戸市のお隣、茨城町出身の23歳です。気づけば高校からずっと建築を勉強してきました。学生時代、世界を肌で感じたくなり半年間アジア各国で観光やボランティアをしたり、新潟の某芸術祭のお手伝いをしたりと様々なことに興味をもち行動してきました。エイプラス・デザインでは住宅だけではなく福祉施設や商業施設など、様々な建築を設計しています。それは私にとってエイプラス・デザインの魅力のひとつであり、「ぜひエイプラス・デザインで働きたい！」と思わせてくれるものでした。まだまだ設計に関しては経験不足であり、毎日戦々苦闘しております。とにかく今は一日も早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、皆様宜しくお願いします。



■当社ショールーム



株式会社 エイプラス・デザイン

〒310-0062 茨城県水戸市大町3-4-36 大町ビル1F
TEL.029-227-3361 FAX.029-302-2793
E-mail:info@aplus-design.jp

0120-656-556

<http://www.aplus-design.jp/> エイプラスデザイン 検索

建築家 佐藤昌樹のつぶやき
<http://twitter.com/SATOMSK>

定期報告の簡単な流れ

ご相談

・お気軽にご連絡ください

予備調査

- ・基本方針のお打合せ
- ・図面の有無の確認
- ・ご予算の相談
- ・お見積り

現地調査

- ・図面との照会
- ・建物利用状況の把握
- ・調査・検査

報告書作成

- ・維持・保全のアドバイス



水戸の建築家と建てる

ー 設計事務所 エイプラス・デザインー

長年愛され続ける「いい建物」を



ごあいさつ

残暑お見舞い申しあげます。立秋を過ぎても毎日猛暑のような真夏日が続いております。小生も額の汗を拭きながら毎日の営業に飛びまわっております。

又、事務所のスタッフも皆自分の夢に向かって仕事に励んでおります。最近弊社では、北茨城市立総合病院のプロポザルに久米設計さんとJVで参加し、当選する事が出来ました。これを機に社員のモチベーションも一段と高まってきております。弊社の得意分野とする医療福祉施設の分野で少しでも力を発揮する事が出来れば幸いです。

又、先日社員研修旅行で上海に行ってきました。以前、事務所のスタッフの一員だった呉天虹さんに案内役をお願い出来たので観光旅行では味わえない見学をしたり、美味しいものをたくさん頂く事が出来ました。私も10数年前に一度上海を訪問しましたが、現在の中国パワーには目をみはるものがありました。新旧バランスのとれた街並に感嘆！！

これからも色々な物をみたり、感じたりする事が出来るように社員一同頑張ります。

株式会社エイプラス・デザイン 藤沼 昭

Chateau de Pense'e

～シャト ドゥ パンセ～

鎌倉市大船に設計しました、1階が貸店舗2軒とマンションの玄関、駐車駐輪場。2～4階は1Kタイプの賃貸住宅が計12戸ある、複合用途の4階建ての建物です。建物の北側はメインストリートに面しているため、外廊下・外階段が北側に現れる一般的な賃貸住宅のファサードを極力避け、両側にコンクリート打放しの存在感のある壁面を配置した建物から、壁に囲まれた階段を突出させた特徴のある建物としました。大船駅と鎌倉芸術館を結ぶ芸術館通りの中間にある建物は、通りの名にあったシックで落ち着いた建物となりました。



あおぞらタウン高専賃

あおぞらタウン高専賃の敷地は水戸市にあり、通りから少し入った場所なので車の通りもあまり激しくなく静かなところです。高齢者専用賃貸住宅なのでもちろん賃貸人は高齢者の方になってくるので、その点では安全面が考慮された良い敷地です。それに、周りには中高層のアパートもあり、そこでのコミュニティとしての活性化をはかるのにも効果的です。ソフトの話としては、ただ単に高齢者が居住するのではなく、居住者に対して食堂兼機能訓練室等、デイサービス的な機能を付加することでより良い生活を提供できる住宅となっています。また、高齢者の方に孤独感やさみしいといった感情を与えないためにも、1戸1戸が独立せずキッチンや浴室等の共用のスペースを設けることで建物内部での横の繋がりをもたせています。ですので、ここでの内部のコミュニティが外部へと繋がり、広がっていくことでこの敷地周辺の地域が人の笑顔であふれる場所になってくれることを期待しています。



デイサービス クリクリ青柳 ケアホーム くりあん

水戸市青柳町にて既存民家を老人デイサービスセンター、既存飲食店を障害福祉サービス施設のケアホームへの改修を行いました。デイサービス施設は昔ながらの民家の改修のため、廊下と居室の段差を解消し、トイレ・浴室を含めバリアフリーとし、ガラスをペアガラスに変更・床暖房の設置など御高齢の方に快適に利用して頂ける施設としました。ケアホームは9名が共同生活を行なう施設に間仕切を追加し、今後の高齢者の、利用を配慮しエレベータ設置などのバリアフリー化、宿泊施設のため防災を配慮しスプリンクラー設置など、安全性の高い充実した施設としました。現況の建物・土地を生かし、建築基準法・都市計画法・消防法などに適合させる難条件でしたが、新たな用途の建物に生まれ変わり、今後も利用して行ける建物となりました。



映画『桜田門外ノ変』10月16日(土)封切決定!!



映画『桜田門外ノ変』の撮影のためのオープンロケセットの設計をさせていただきました。水戸市・千波湖畔に映画の最大の山場となる桜田門外での襲撃現場と、背景となる江戸城の桜田門外周辺と江戸城の一部を細かく再現いたしました。現在、一般公開中です。日本最大級のオープンロケセットをぜひ体験し、10月16日(土)に全国公開される映画の予習をなさってはいかがでしょうか。



上海のレストランで「今日は何を食べようかなぁ」。

「南翔饅頭店」の小籠包は美味しいかったです。



水郷「朱家角」では舟に乗りました。



上海の中心地は活気があふれています。



お豆腐を頬張る佐藤社長



上海の水郷「朱家角」で記念撮影。

社員旅行に行ってきました。

7月に社員旅行で上海に行きました。それも、ただの社員旅行ではありません。エイプラス・デザイン「初」の社員旅行です。建築士の試験のため、残念ながら全員参加とはいかず、8名での旅行となりましたが、有意義な旅行ができました。上海には、2年前まで当社に勤務していた「吳天虹さん」が住んでいたため、ガイド兼通訳として一緒に行動してもらいました。改めて、感謝です。「謝々！」

上海では観光もしましたが、とにかく食事がおいしい！何を食べてもおいしくて、2泊3日の旅行で私は3kg体重が増え、お腹がせり出していました。出張ったお腹を元に戻すため、アクアメディエクスでせっせと腹筋に励んでおります。

上海は、伝統的な建築物と超近代的な建築物が混在している不思議な都市でした。そして、何よりも人々の大きなエネルギーを感じられる都市でした。最近の日本に失われてしまったものが残っている、そんな都市でした。上海で見たり体験したことは、今後の設計業務にきっと役に立つことでしょう。

来年もまた社員旅行に行けるように(今度は全員で)、ますます頑張って仕事に励みたいと思います。



上海のアスメ

SHANGHAI
no SUSUME



APLUS DESIGN Inc.